

(別紙)

●事業の実施状況

UCI※1公認レース「マイナビ ツール・ド・九州2025」の開催

開催県に設置されたステージ事務局および市町村、スタート・フィニッシュ各施設、各県警察、JCF※2等関係機関と連携のうえ開催いたしました。

※1 UCI：国際自転車競技連合 ※2 JCF：公益財団法人日本自転車競技連盟

(1) 開催日程

日程	ステージ	コース
10月10日(金)	佐世保クリテリウム	佐世保市
10月11日(土)	ステージ1 福岡	筑後市→八女市
10月12日(日)	ステージ2 熊本阿蘇	南小国町→南阿蘇村
10月13日(月・祝)	ステージ3 宮崎・大分	延岡市→佐伯市

(2) 参加チーム

ツール・ド・フランス総合優勝の実績を持つアスタナ・カザクスタンチームを含め、下記の18チーム(9か国)から選手106名(20国籍)が参加しました。

	チーム名	国名
UCIワールドチーム	アンテルマルシェ・ワンティ	ベルギー
	XDS・アスタナ チーム	カザフスタン
UCIプロチーム	Q36.5プロサイクリング チーム	スイス
	ソリューションテック・ヴィーニファンティーニ	イタリア
	トタルエナジーズ	フランス
UCIコンチネンタルチーム	愛三工業レーシングチーム	日本
	シーキャッシュ エックス ボディラップ	オーストラリア
	キナンレーシングチーム	日本
	マトリックスパワータグ	日本
	シマノレーシング	日本
	スパークルおおいたレーシングチーム	日本
	チームブリヂストンサイクリング	日本

TEAM UKYO	日本
トレンガヌ・サイクリング・チーム	マレーシア
宇都宮ブリッツェン	日本
VC福岡	日本
ヴィクトワール広島	日本
ヴィクトリア・スポーツ・プロサイクリング	フィリピン

(3) 安全を確保した大会運営

①安全確保のための広報活動

ロードレースで起こり得る事故の多くは、レース開催を知らずに道路へ車両や人が侵入することにより発生するため、対策として、自転車ロードレースの開催、交通規制に関する事前周知を強化することで、事故防止を図りました。

具体的な取組みとして、集客の広報活動とは別に、事前に町内会、コース沿線の全ての商業施設、事業所を訪問し説明を行うとともに、新聞、TVなどのマスメディア広告などを実施し、複合的な注意喚起を行いました。

②審判員へのオンライン講習

適切な安全対策が実施できるよう、オンラインで審判員を対象としたコースの危険箇所や各審判の役割を確認する講習会を開催しました。

③審判員による事前のコース視察

大会ディレクター、競技ディレクター、セーフティーマネージャーやエスコートモチーフなど、関係者による合同視察を8月に実施しました。視察内容をまとめたレポートを関係者に共有し、当日の連携に結びました。

また、セーフティーマネージャーによる前日、当日のコース視察を実施することで図面上には反映されていない状況を再度確認し、現状に即した安全対策への変更、危険箇所の伝達を実施しました。